

問1 イギリスと清が戦ったアヘン戦争の講和条約が結ばれたのは何年？

1. 1854年 2. 1858年 3. 1840年 4. 1853年

問2 南北戦争中の1863年、戦場跡地でリンカーンが述べた、民主主義の理想を示した演説を何という？

1. ゲティスバーグ演説 2. 十四か条の平和原則 3. パーク演説 4. 炉辺談話

問3 坂本龍馬が土佐藩主に対して説いた、徳川幕府が天皇に政権を返すべきだという政治的な方針を何という？

1. 版籍奉還 2. 大政奉還 3. 廃藩置県 4. 王政復古

問4 アメリカがペリーを派遣するきっかけとなった、1840年に清がイギリスと戦った戦争を何という？

1. 日露戦争 2. アロー戦争 3. 日清戦争 4. アヘン戦争

問5 1864年に長州藩による外国船砲撃への報復として、イギリス・フランス・アメリカ・オランダが下関を攻撃するために編成した艦隊を何という？

1. 連合艦隊 2. 北洋艦隊 3. 四国艦隊 4. 黒船艦隊

問6 1861年からアメリカで発生した、奴隷制の是非を巡る北部と南部の内戦を何という？

1. 南北戦争 2. 三十年戦争 3. 七年戦争 4. 普仏戦争

問7 安政の大獄で処罰された、長州藩出身の思想家・教育者で、松下村塾で多くの志士を育てた人物は誰？

1. 橋本左内 2. 吉田松陰 3. 安藤信正 4. 頼三樹三郎

問8 南京条約によって、清がイギリスに割譲した地域を何という？

1. 上海 2. 広州 3. 寧波 4. 香港

問9 1858年、江戸幕府の大老としてアメリカと日米修好通商条約を結んだ人物は誰？

1. 阿部正弘 2. 松平慶永 3. 井伊直弼 4. 徳川慶喜

問10 1853年に浦賀へ来航し、江戸幕府に対して開国を強く求めたアメリカ東インド艦隊の司令長官は誰？

1. ハリス 2. ラクスマン 3. ブチャーチン 4. ペリー

問11 1866年、坂本龍馬の仲介によって薩長同盟を締結した、薩摩藩の指導者は誰？

1. 西郷隆盛 2. 大久保利通 3. 桂小五郎 4. 木戸孝允

問12 幕末の開国後、アメリカをはじめとする外国と結ばれ、生糸などの輸出が始まったことで国内の物価上昇を招いた条約を何という？

1. 日英修好通商条約 2. 日米修好通商条約 3. 日仏修好通商条約 4. 日米和親条約

問13 坂本龍馬が仲介し、1866年に薩摩藩と長州藩の間で結ばれた軍事同盟を何という？

1. 開国進取 2. 薩長同盟 3. 公武合体 4. 尊王攘夷

問14 幕末の政治思想で、天皇を敬い大切にするという考えを何という？

1. 佐幕 2. 公武合体 3. 尊王 4. 開国

問15 薩長同盟によって軍事力を強めた両藩が実現した、徳川慶喜が政権を天皇に返還した出来事を何という？

1. 大政奉還 2. 版籍奉還 3. 王政復古 4. 廃藩置県

答え合わせ・解説

問1	答え 3 1840年	清政府がアヘンの取り締まりを強化したことに対し、イギリスが武力介入したのがアヘン戦争です。1840年に始まったこの戦いは、近代的な武器を持つイギリスの圧倒的勝利に終わりました。戦後の南京条約により、清は多額の賠償金と領土の割譲を強いられました。
問2	答え 1 ゲティスバーグ演説	リンカーンはわずかに数分の演説の中で「人民の、人民による、人民のための政治」という言葉を使い、民主主義の理想を簡潔かつ力強く訴えました。国家の分裂という危機を乗り越え、国民が一致団結して自由と平等を目指すべきだと主張しました。
問3	答え 2 大政奉還	坂本龍馬は、内戦を避けて速やかに新しい政府を作るために、幕府自らが政権を返還する大政奉還を提唱しました。土佐藩の山内豊信（容堂）を通じて將軍慶喜に働きかけ、新しい国の形を模索しました。「船中八策」という具体案も作成され、議会政治や公選制なども含まれていました。
問4	答え 4 アヘン戦争	清政府がアヘンの取り締まりを強化したことに対し、イギリスが武力で開国を迫ったことで勃発しました。近代的な軍事力を持つイギリスの前に清は完敗し、南京条約を結んで香港の割譲や開港を余儀なくされました。
問5	答え 3 四国艦隊	1864年、イギリス・フランス・アメリカ・オランダの四カ国は艦隊を編成し、下関を砲撃しました。この「四国艦隊下関砲撃事件」により、長州藩の砲台は破壊され、多額の賠償金も課せられることになりました。
問6	答え 1 南北戦争	1861年、リンカーンが大統領に選ばれると南部諸州が合衆国を脱退し、これに北部が反発したことで南北戦争が始まりました。奴隷制の存続を主張する南部と、廃止を求める北部の戦いは4年間に及びました。
問7	答え 2 吉田松陰	吉田松陰は長州藩の教育者として、松下村塾で高杉晋作や久坂玄瑞ら、後の明治維新の中心人物となる若者たちを指導しました。幕府の条約調印を厳しく批判したため、井伊直弼が行った安政の大獄によって処刑されました。
問8	答え 4 香港	香港島は、イギリスの東アジアにおける貿易と軍事の拠点としてこの条約で割譲されました。この島は後に近代的な港湾都市へと発展し、イギリスの対中進出の窓口として重要な役割を果たしました。
問9	答え 3 井伊直弼	井伊直弼は幕府の老練として、朝廷の許可（勅許）を得ないままアメリカと日米修好通商条約を結び、横浜などを開港しました。これによって自由貿易が開始されましたが、反発を強めた攘夷派を安政の大獄で厳しく弾圧したため、恨みを買うこととなりました。
問10	答え 4 ペリー	アメリカの東インド艦隊司令長官ペリーは、4隻の軍艦（黒船）を率いて浦賀に現れました。圧倒的な軍事力を背景に、開国と通商を求める大統領の親書を幕府に提出しました。幕府は強硬な態度をとるペリーに対し、防備を固めることもできず、翌年の再来航を約束して一旦回答を猶予せざるを得ませんでした。
問11	答え 1 西郷隆盛	西郷隆盛は、長州藩の木戸孝允らと密談を重ね、軍事同盟である薩長同盟を成立させました。これにより、倒幕の力は飛躍的に高まりました。彼は武力倒幕の中心人物として、その後も倒幕を強く推進しました。
問12	答え 2 日米修好通商条約	1858年、大老の井伊直弼は朝廷の勅許を得ないまま、アメリカ総領事ハリスと日米修好通商条約を結びました。これにより函館・横浜・長崎などの開港と、治外法権の承認、関税自主権の喪失が決定しました。以後、同様の条約が英・仏・露・蘭とも結ばれ、安政の五カ国条約と呼ばれます。
問13	答え 2 薩長同盟	坂本龍馬や中岡慎太郎の尽力により、京都で西郷隆盛と木戸孝允が会談し、薩長同盟が成立しました。この同盟により、両藩は武器や物資の融通を行い、強力な軍事力を保持することになりました。
問14	答え 3 尊王	尊王思想は、天皇をあげめするという考え方です。これに「外国勢力を排除せよ」という攘夷思想が結びつき、「尊王攘夷」という強力な運動が生まれました。幕府の統治に疑問を持つ志士たちの精神的な支柱となりました。
問15	答え 1 大政奉還	坂本龍馬らの進言を受けた15代將軍徳川慶喜は、政権を天皇に返すことで、徳川家が新しい政権の中でも権力を維持しようと試みました。これが大政奉還です。これにより、長い間続いてきた江戸幕府の支配体制が公式に終わることとなりました。